

**2012年3月期決算
および
新長期ビジョン説明会**

2012年5月17日

Nabtesco Corporation

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

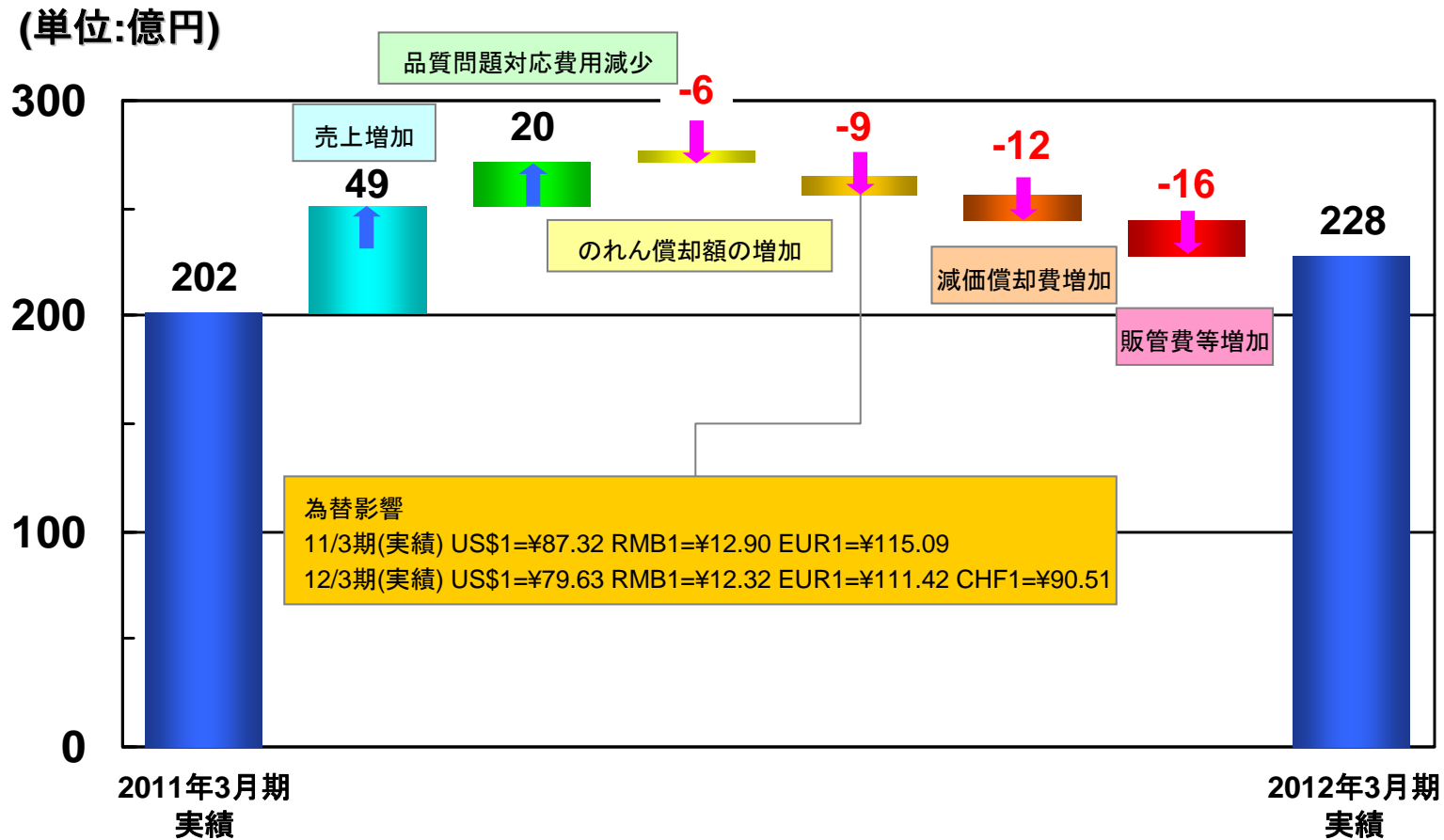
- I. 連結業績概況
- II. 連結業績見通し
- III. セグメント別業績概況・見通し
- IV. 地域別売上高
- V. **B/S**概況
- VI. 設備投資額・研究開発費・減価償却費
- VII. 連結キャッシュ・フロー
- VIII. トピックス
- IX. 新長期ビジョン

業績概況 (前期比)



(単位:百万円)	2011/3 実績	2012/3 (直近予想)	2012/3 実績	増減額	増減率
売上高	169,303	200,900	198,527	29,223	17.3%
営業利益	20,212	22,900	22,858	2,646	13.1%
営業利益率	11.9%	11.4%	11.5%	-0.4pt	-
営業外損益	2,153	-	1,798	-355	-
経常利益	22,365	24,900	24,656	2,291	10.2%
特別損益	-411	-	190	602	-
税引前利益	21,954	-	24,847	2,893	13.2%
当期純利益	13,387	15,100	14,756	1,368	10.2%
一株当たり 当期純利益	105.91円	119.43円	116.74円	10.83円	
ROA	8.1%	7.7%	7.6%	-0.5pt	
ROE	15.8%	15.8%	15.6%	-0.2pt	
一株当たり 配当金	25円	34円(予)	34円(予)	9円	
配当性向	23.6%	28.5%(予)	29.1%(予)	5.5pt	

連結損益実績 (営業利益変動要因分析)



通期連結業績見通し



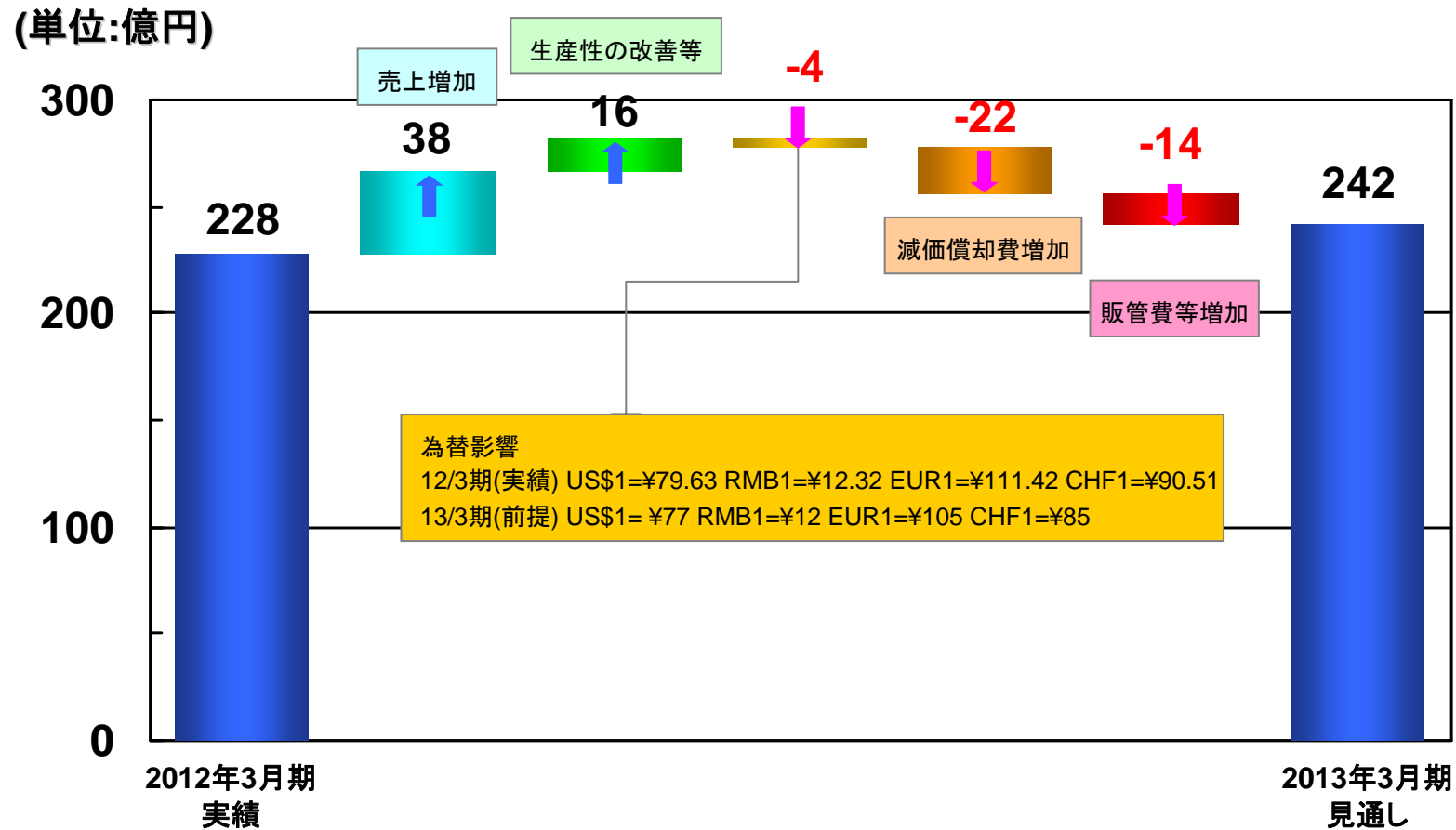
(単位:百万円)	2012/3			2013/3		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期見通し	下期見通し	通期見通し
売上高 (前年同期比)	97,671 (+23.5%)	100,856 (+11.8%)	198,527 (+17.3%)	98,000 (+0.3%)	112,000 (+11.0%)	210,000 (+5.8%)
営業利益 (前年同期比)	12,234 (+29.4%)	10,624 (-1.2%)	22,858 (+13.1%)	9,600 (-21.5%)	14,600 (+37.4%)	24,200 (+5.9%)
営業利益率	12.5%	10.5%	11.5%	9.8%	13.0%	11.5%
経常利益 (前年同期比)	13,201 (+27.9%)	11,455 (-4.9%)	24,656 (+10.2%)	10,200 (-22.7%)	15,900 (+38.8%)	26,100 (+5.9%)
当期純利益 (前年同期比)	8,351 (+41.2%)	6,405 (-14.3%)	14,756 (+10.2%)	6,300 (-24.6%)	10,500 (+63.9%)	16,800 (+13.8%)
ROA			7.6%			8.4%
ROE			15.6%			17.0%
一株当たり 配当金	17円	17円(予)	34円(予)	18円(予)	21円(予)	39円(予)
配当性向			29.1%(予)			29.3%(予)

Notes: 通期見通し

- 産業用ロボット向け精密減速機拡大と太陽追尾駆動装置が新たに加わること、また自動ドアの売上増及びGilgen(スイス)買収効果が見込まれることにより、13/3期では増収を想定。
- リスク: 中国建設機械需要の回復遅れ、中国高速鉄道事故後の鉄道投資回復遅れなど。

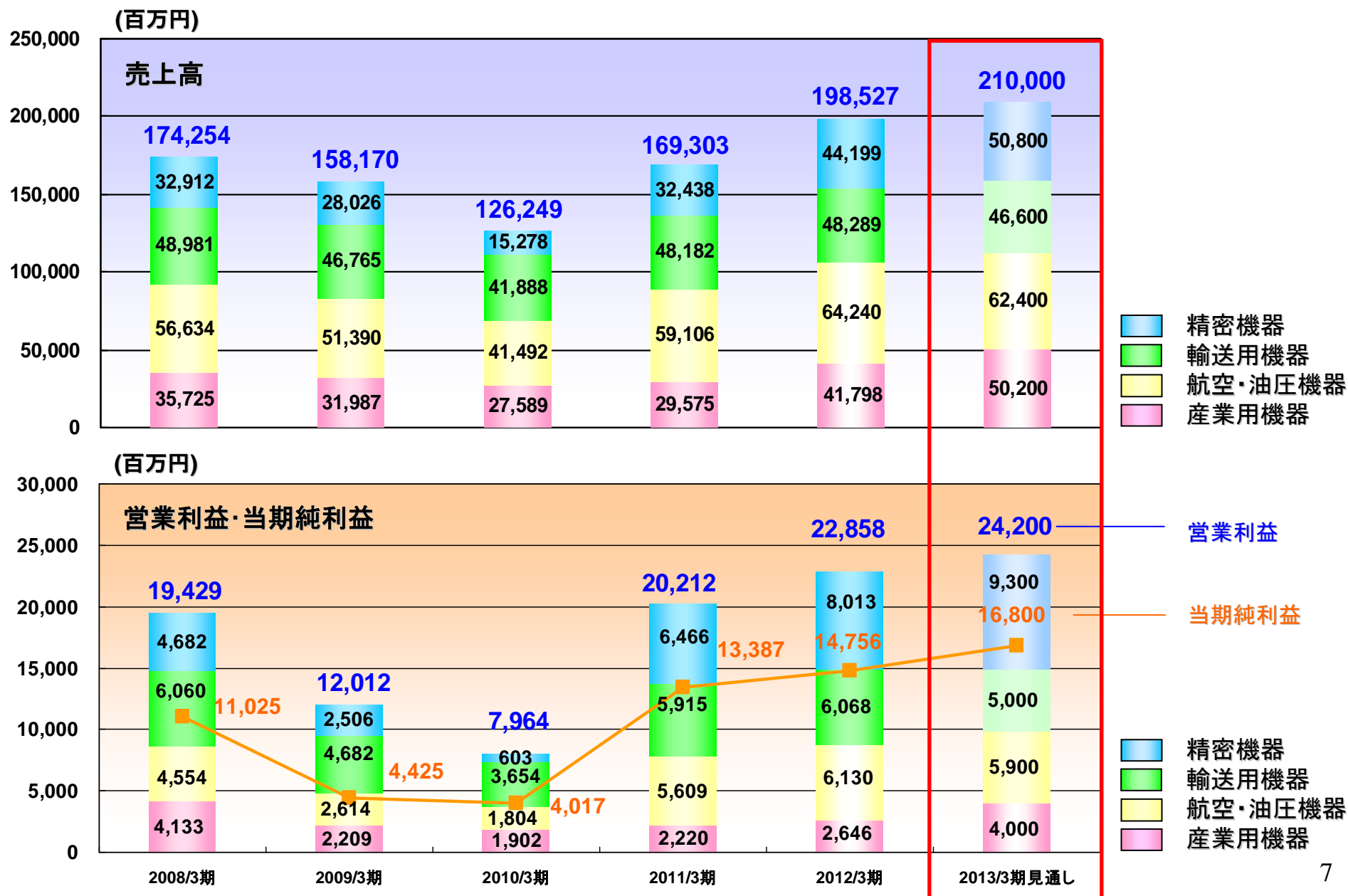
注: 当社の海外子会社に関しては1~12月決算であり、3ヶ月分の期ずれが生じております。

連結損益見通し (営業利益変動要因分析)



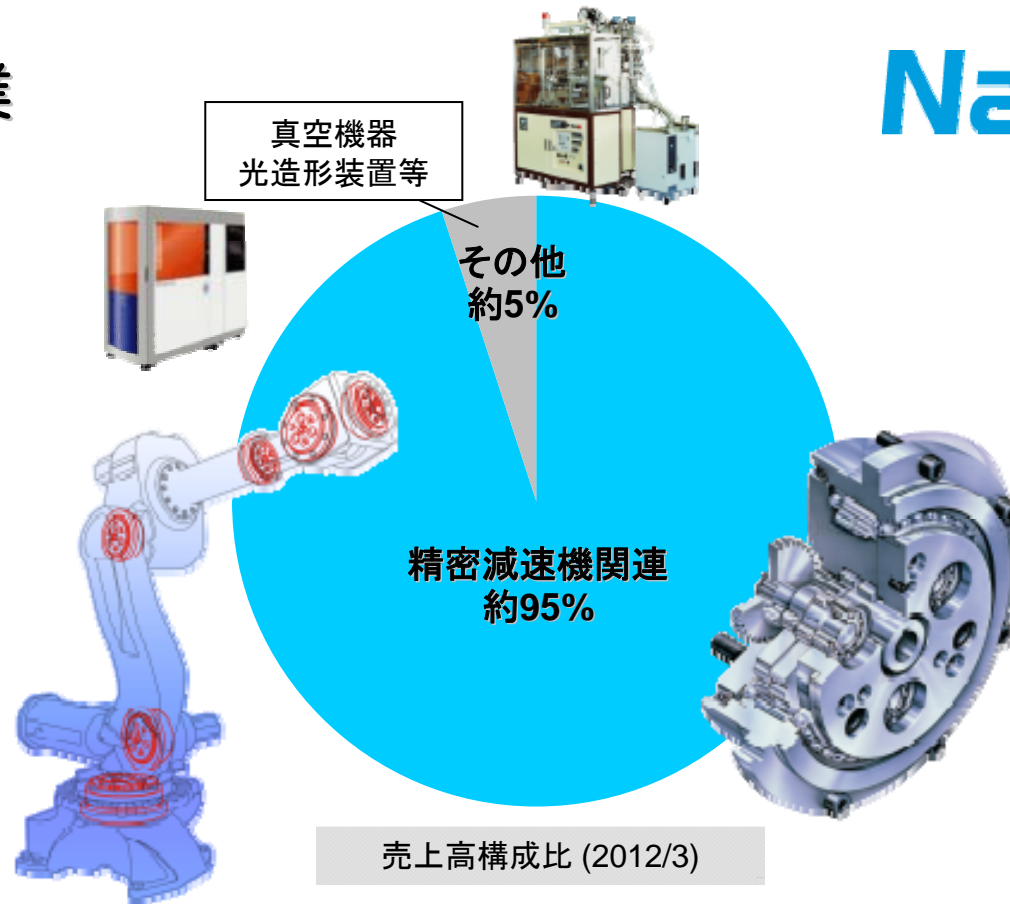
※為替感応度: 米国ドル1.34億円、人民元1.71億円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微
 (為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)

セグメント別業績概況・見通し



精密機器事業

Nabtesco



主要製品と顧客 (敬称略)

●精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、森精機製作所

業績実績及び見通し

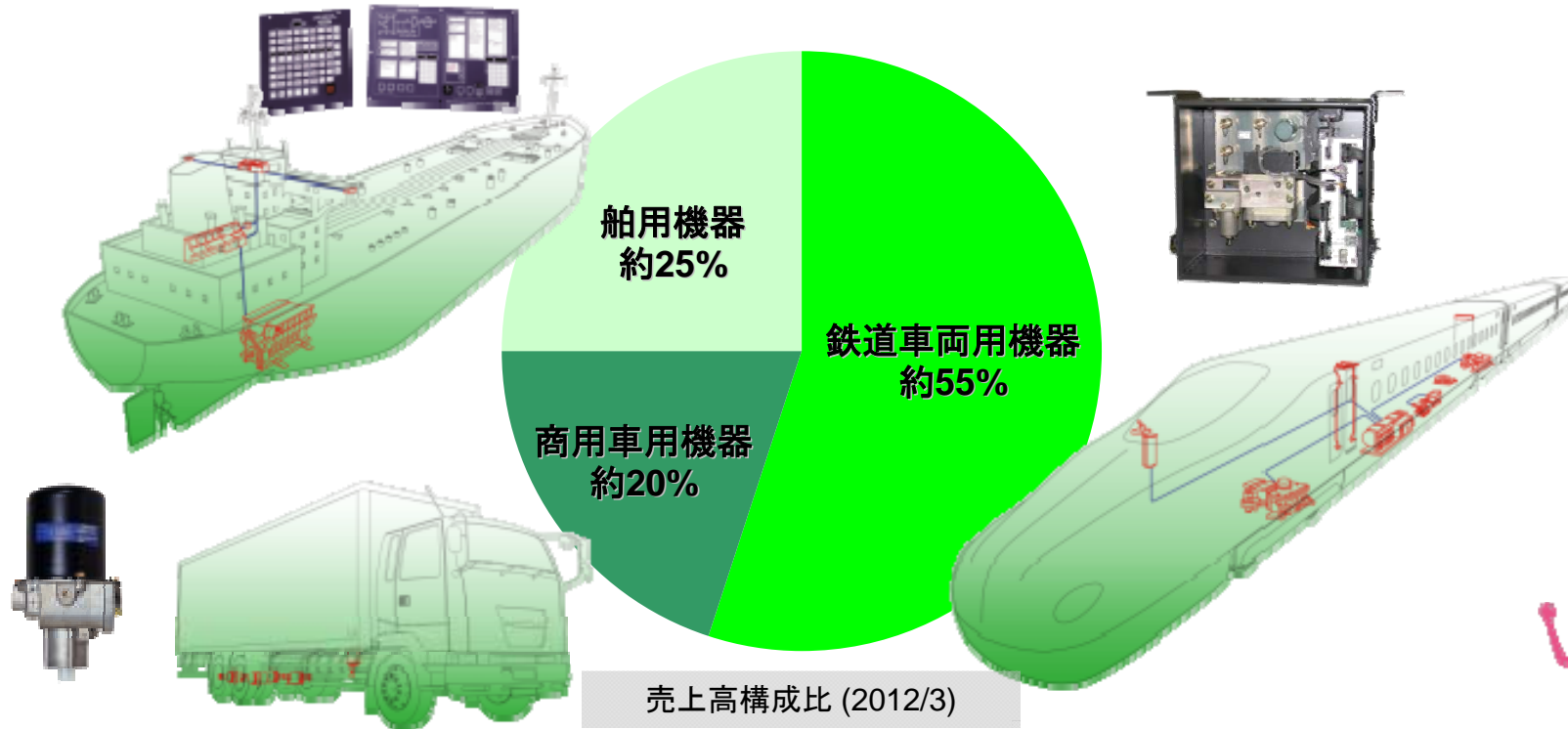
(単位:百万円)	2012/3			2013/3		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期見通し	下期見通し	通期見通し
売上高 (前年同期比)	21,293 (+46.8%)	22,906 (+27.7%)	44,199 (+36.3%)	23,400 (+9.9%)	27,400 (+19.6%)	50,800 (+14.9%)
営業利益 (前年同期比)	3,946 (+23.5%)	4,067 (+24.3%)	8,013 (+23.9%)	3,900 (-1.2%)	5,400 (+32.8%)	9,300 (+16.1%)
営業利益率	18.5%	17.8%	18.1%	16.7%	19.7%	18.3%

Notes:

- 精密減速機: 国内外の自動車産業及び一般産業向けの設備投資の拡大を背景とした、産業用ロボットの需要拡大を主因に12/3期は増収。工作機械向けも需要は回復。13/3期では太陽追尾駆動装置も加わり引き続き増収の見通し。
- 営業利益(全体): 12/3期は売上の増により増益。13/3期は減価償却費の負担増が加わるものの、売上高の増、自動化による生産性向上が寄与し増益の見込み。

輸送用機器事業

Nabtesco



主要製品と顧客 (敬称略)

●鉄道車両用機器 ブレーキシステム ドア開閉装置

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

●船用機器 ディーゼルエンジン遠隔制御装置

川崎重工業、三井造船、日立造船、三菱重工業、ディーゼル ユナイテッド、Hyundai Heavy Industries (韓)、MAN Diesel (デンマーク)

●商用車用機器 エアブレーキ周辺機器

日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、いすゞ自動車、UDトラックス



業績実績及び見通し

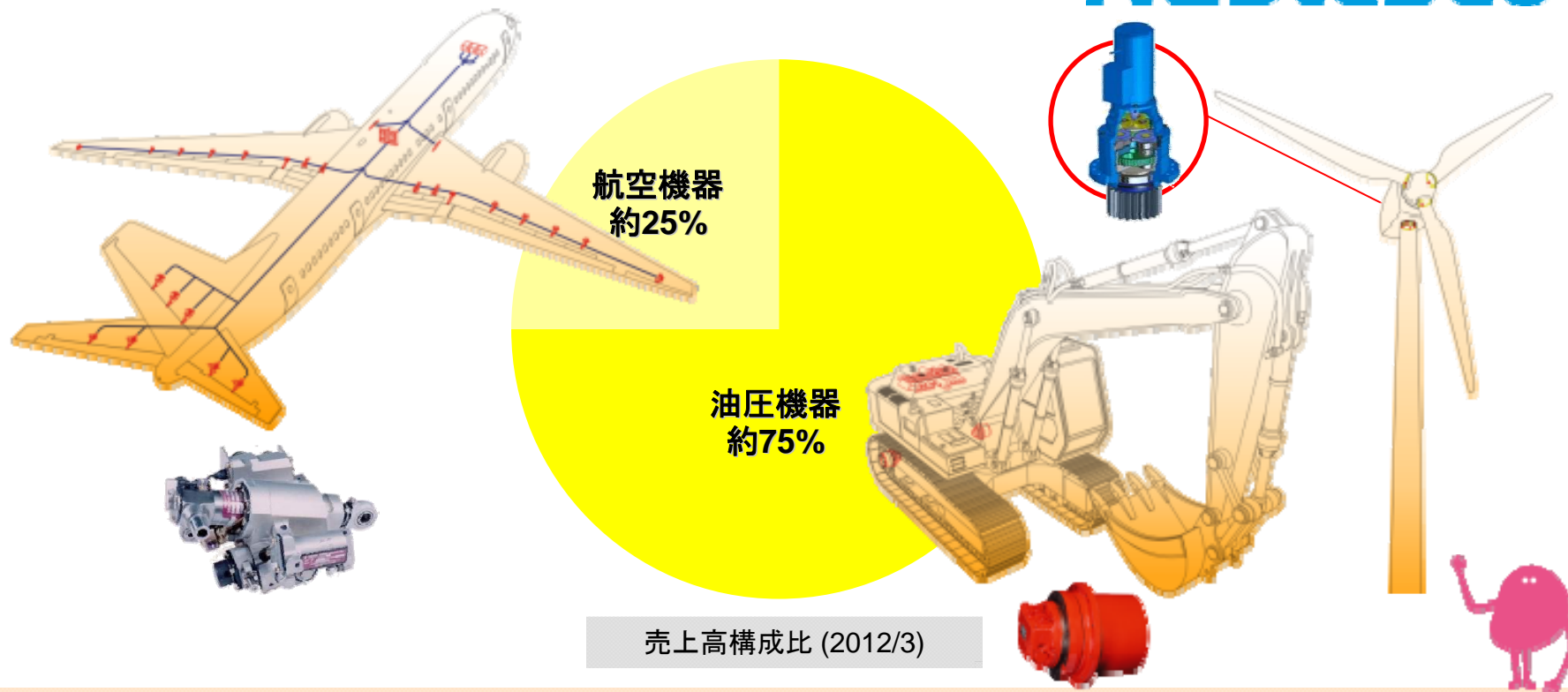
(単位:百万円)	2012/3			2013/3		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期見通し	下期見通し	通期見通し
売上高 (前年同期比)	23,489 (+3.9%)	24,800 (-3.0%)	48,289 (+0.2%)	23,200 (-1.2%)	23,400 (-5.6%)	46,600 (-3.5%)
営業利益 (前年同期比)	3,136 (+17.0%)	2,932 (-9.3%)	6,068 (+2.6%)	2,700 (-13.9%)	2,300 (-21.6%)	5,000 (-17.6%)
営業利益率	13.4%	11.8%	12.6%	11.6%	9.8%	10.7%

Notes:

- 鉄道車両用機器: 12/3期は国内では新車両投入の端境期であることや、中国向けでは政府鉄道部の不祥事や高速鉄道事故による投資先送りの影響を受け減収。13/3期は中国向け回復を想定するものの、国内減収で横ばいの見込み。
- 船用機器: 船舶市況が依然厳しい中、中国向けスポット案件もあり12/3期は増収。13/3期は船舶需要減により減収の見通し。
- 商用車用機器: トラックの新興国向け需要の拡大を受け12/3期は増収。13/3期では国内政府補助金復活などで上期は増収の前提であるが、下期に反動減などを織り込み、通期売上は横ばいの見込み。
- 営業利益(全体): 12/3期は商用車両用機器の売上増が寄与し増益。13/3期は売上減もあり減益の見込み。

航空・油圧機器事業

Nabtesco



主要製品と顧客 (敬称略)

●油圧機器

走行モーター:

日本: コマツ、コベルコ建機、住友建機

中国: Liu Gong (柳工)、Sany (三一)、Xugong Excavator (徐工) 韓国: Doosan

風力発電機用駆動装置: 三菱重工業、他

●航空機器 フライトコントロールアクチュエーションシステム

Boeing (米)、三菱重工業、川崎重工業、IHI、防衛省、全日本空輸、Singapore Airlines

業績実績及び見通し

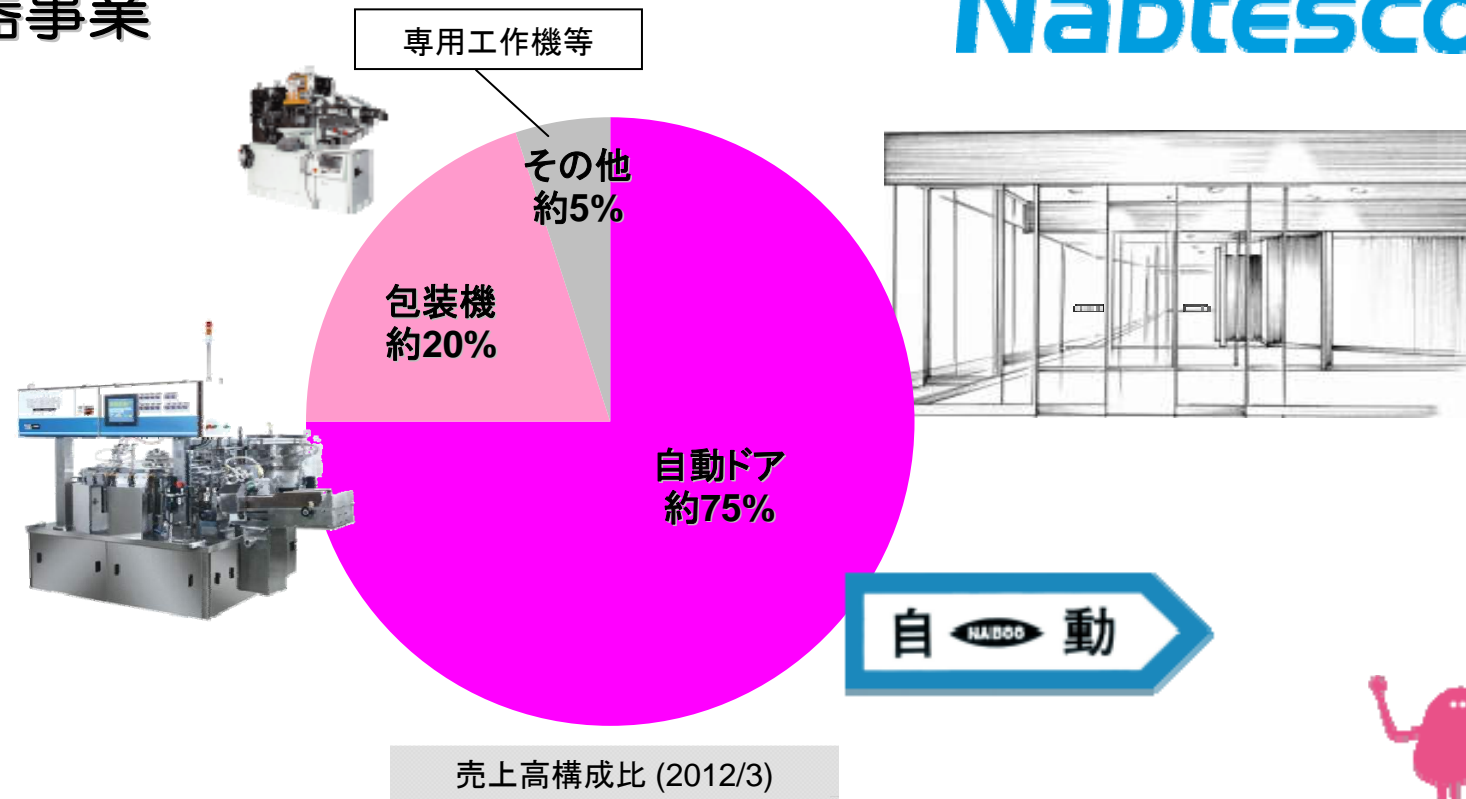
(単位:百万円)	2012/3			2013/3		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期見通し	下期見通し	通期見通し
売上高 (前年同期比)	34,838 (+21.8%)	29,402 (-3.6%)	64,240 (+8.7%)	28,500 (-18.2%)	33,900 (+15.3%)	62,400 (-2.9%)
営業利益 (前年同期比)	3,903 (+38.3%)	2,227 (-20.1%)	6,130 (+9.3%)	1,900 (-51.3%)	4,000 (+79.6%)	5,900 (-3.8%)
営業利益率	11.2%	7.6%	9.5%	6.7%	11.8%	9.5%

Notes:

- 油圧機器:12/3期は下期に中国建設機械需要減の影響を受けたが、上期の中国需要好調により通期では増収。13/3期は中国需要回復が下期以降になることを想定するが、通期減収の見通し。
(風力発電機用駆動装置):米国市場の低迷により12/3期売上は横ばい。13/3期は微増の見通し。
- 航空機器:12/3期は民需向け売上拡大により増収。13/3期も引き続き増収見込み。
- 営業利益(全体):12/3期は油圧機器売上増と国内油圧機器2工場の統合効果により増益。13/3期は航空機器の増収が見込まれるものの、油圧機器減収により減益となる見通し。

産業用機器事業

Nabtesco



主要製品と顧客 (敬称略)

●自動ドア

各種建物用自動ドア: 大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

プラットフォームドア: フランス地下鉄、中国地下鉄、他

●包装機 (東洋自動機)

味の素、丸大食品、三井製糖、P&G、花王、ライオン、中国食品メーカー、Mars(France)、American Beverage Corporation(米)



業績実績及び見通し

(単位:百万円)	2012/3			2013/3		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期見通し	下期見通し	通期見通し
売上高 (前年同期比)	18,050 (+35.0%)	23,748 (+46.6%)	41,798 (+41.3%)	22,900 (+26.9%)	27,300 (+15.0%)	50,200 (+20.1%)
営業利益 (前年同期比)	1,248 (+64.7%)	1,398 (-4.4%)	2,646 (+19.2%)	1,100 (-11.9%)	2,900 (+107.4%)	4,000 (+51.2%)
営業利益率	6.9%	5.9%	6.3%	4.8%	10.6%	8.0%

Notes:

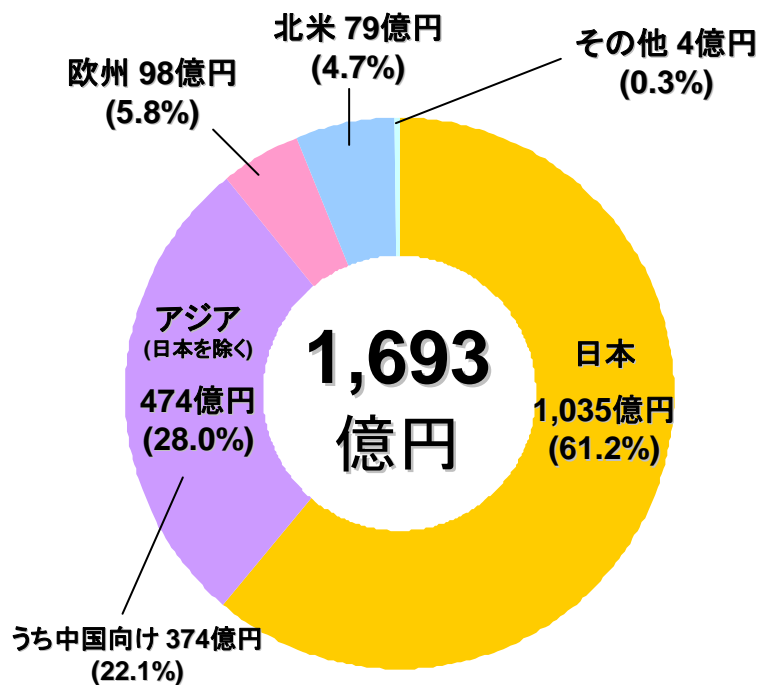
- 自動ドア関連: 12/3期は買収したGilgen(スイス)の売上が第2四半期より計上され増収。13/3期も同買収効果により増収の見通し。
- 包装機: 12/3期は国内の製糖、化成品や海外食品関連の設備投資回復により増収。13/3期も引き続き増収の見込み。
- 営業利益(全体): 12/3期はGilgen買収によるのれん代の償却負担が加わったものの、包装機の増収効果もあり増益。13/3期も引き続き増収により増益の見通し。

地域別売上高

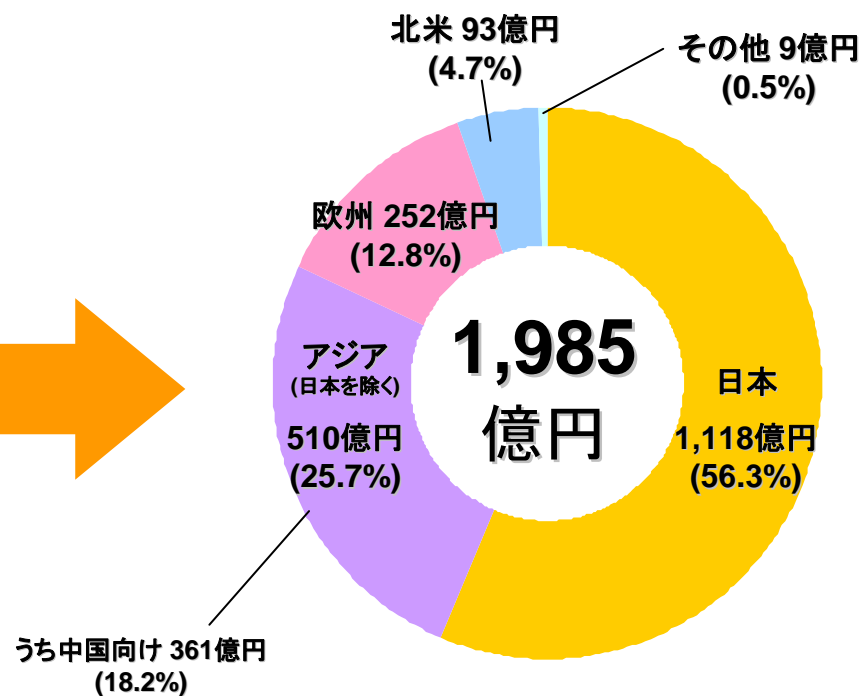
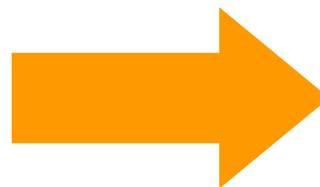


2011/3実績

2012/3実績



海外売上高比率
38.8%



海外売上高比率
43.7%

Notes:

- 12/3期の中国向け売上は、中国鉄道用車両機器の需要などが落ち込んだことで若干減少。
- Gilgen(スイス)買収効果もあり、12/3期の海外売上高比率は43.7%にまで上昇。

B/S概況



(単位:百万円)	2011/3実績	2012/3実績	差異
資 産	180,729	208,092	27,363
(現 預 金 等)	56,705	50,503	-6,201
(売 上 債 権)	40,894	47,539	6,644
売上債権回転日数	83日	81日	2日
(棚 卸 資 産)	17,017	20,110	3,093
棚卸資産回転日数	46日	46日	0日
(有 形 固 定 資 産)	44,442	51,509	7,067
負 債	84,197	100,625	16,428
(有 利 子 負 債)	20,157	31,694	11,537
純 資 産	96,531	107,466	10,935
(新 株 予 約 権)	159	208	48
(少 数 株 主 持 分)	6,130	8,165	2,034
自 己 資 本	90,241	99,092	8,851

Remark:
 ● 資金調達100億円
 (長期借入金)による増加

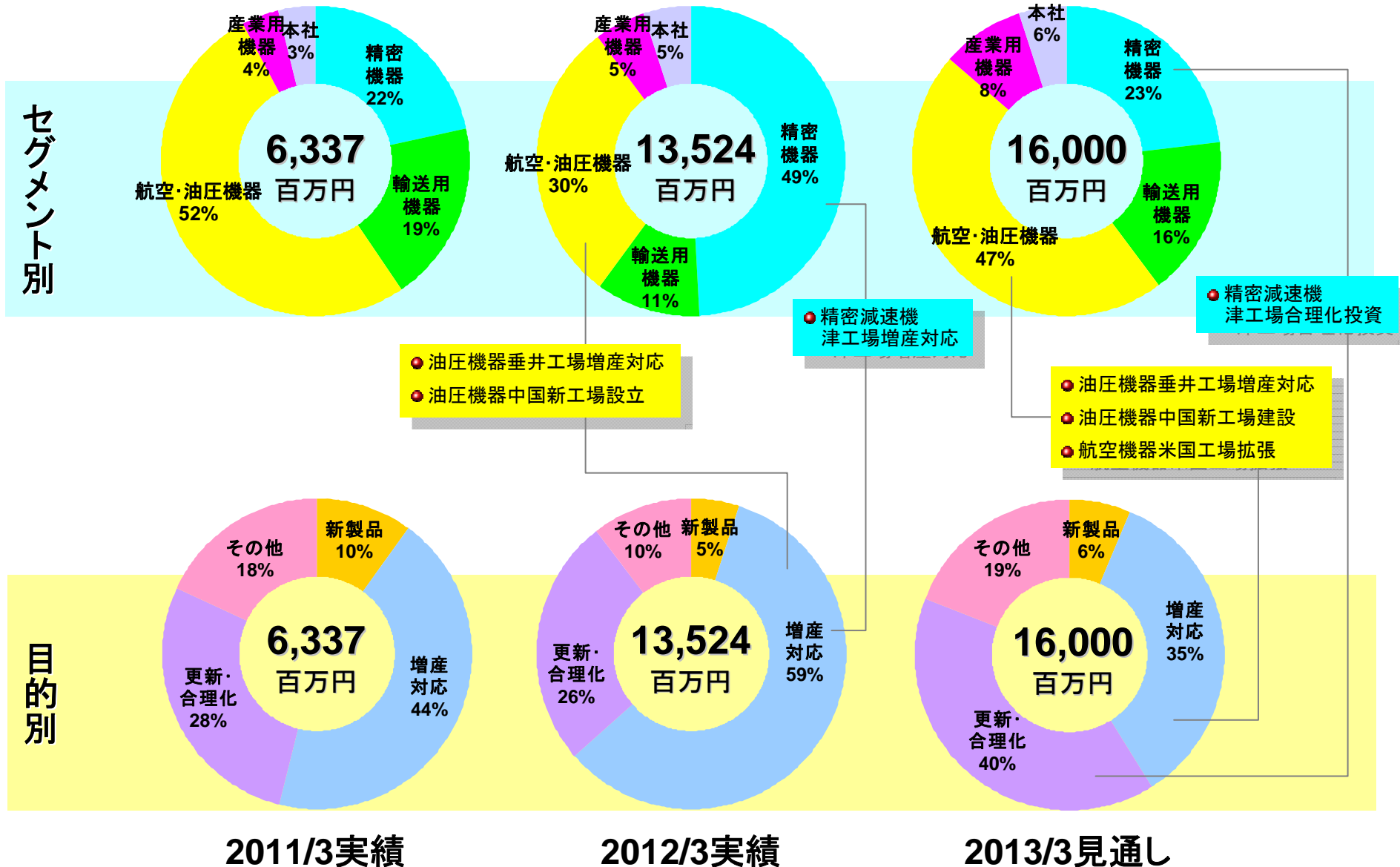
※ 自己資本比率: 49.9% 47.6%

設備投資額・研究開発費・減価償却費



(単位:百万円)	2011/3 実績	2012/3 実績	増減	2013/3 見通し
設備投資額	6,337	13,524	7,187	16,000
研究開発費	3,911	5,200	1,289	5,000
減価償却費	5,391	6,673	1,282	9,000

設備投資額内訳

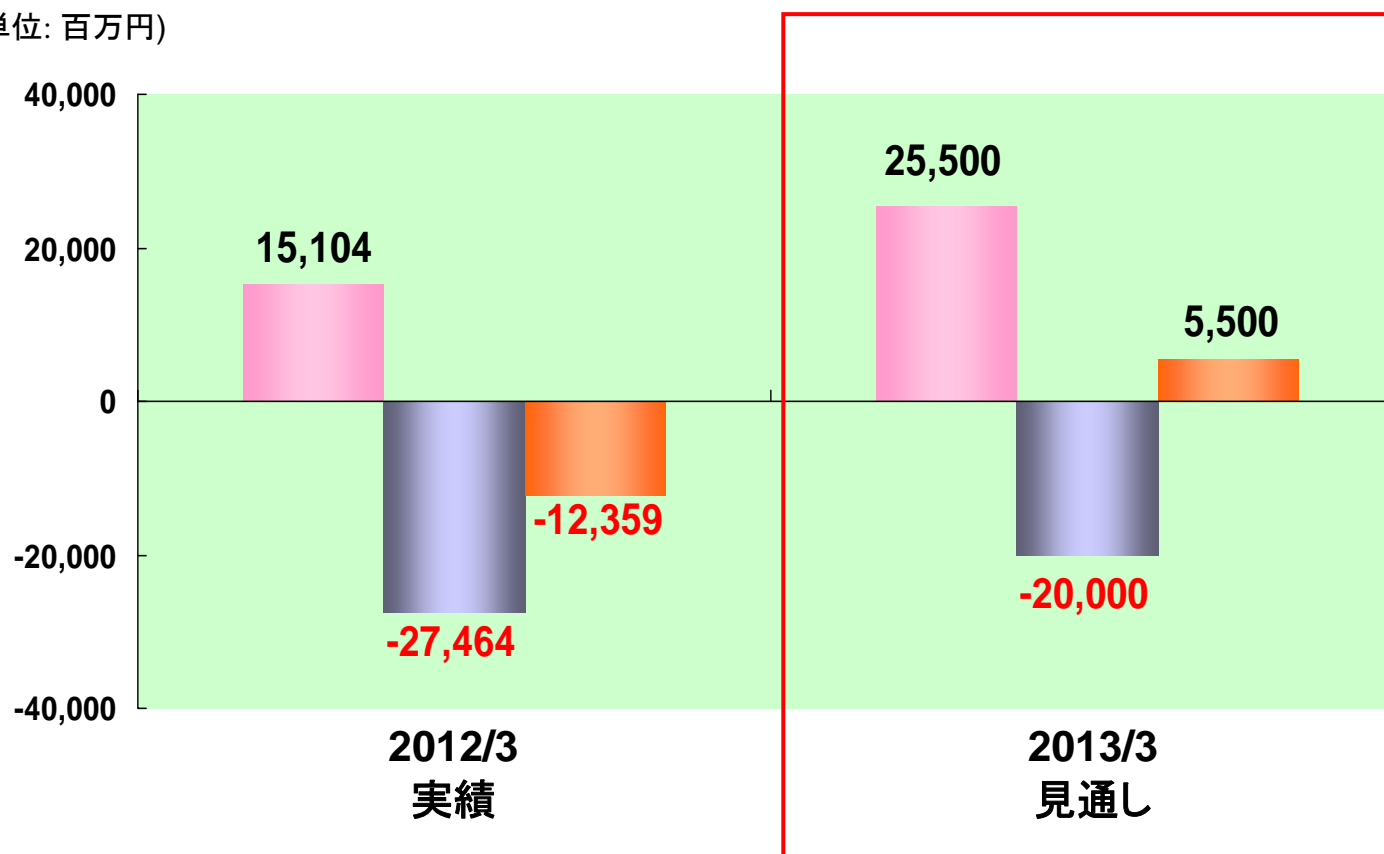


連結キャッシュ・フロー



営業キャッシュ・フロー 投資キャッシュ・フロー フリーキャッシュ・フロー

(単位: 百万円)

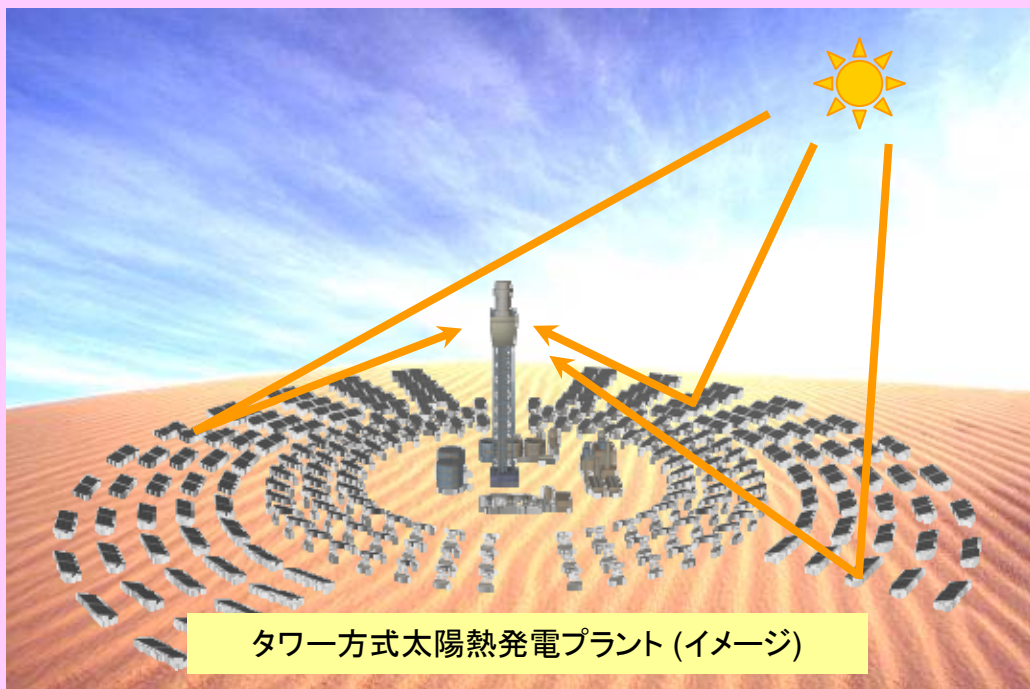


トピックス：太陽追尾駆動装置を初受注

新製品：太陽追尾駆動装置





精密減速機の新たな事業展開として太陽追尾駆動装置を初受注。

プロジェクト名：Crescent Dunes Thermosolar Power Plant (米国ネバダ州)
110MW級の溶解塩タワー方式太陽熱発電プラント。タワー方式としては世界最大規模であり、蓄熱による夜間発電もできることから、太陽光発電、トラフ方式太陽熱発電に比べ2倍の発電が可能な、太陽熱発電技術の新たなスタンダードを確立するもの。



- 太陽追尾駆動装置：
タワー方式太陽熱発電プラントにおいて、太陽光を反射させる鏡(ヘリオスタット)を太陽の動きに追尾させ中央タワーへ集光するための装置。当社精密減速機の技術を応用して開発。

グローバルに成長し続けるベストソリューションパートナー

-  新しいソリューション(製品・サービス・ビジネスモデル)を社会に提供し続けている
-  たゆまぬ技術革新により、顧客に頼られる専門性を追求している
-  言葉・文化の違いを越えてオープンなコミュニケーションと自由な発想を尊重している
-  *Enjoy the Challenge* を合言葉に社員一人ひとりが積極的にチャレンジしている

主要経営指標

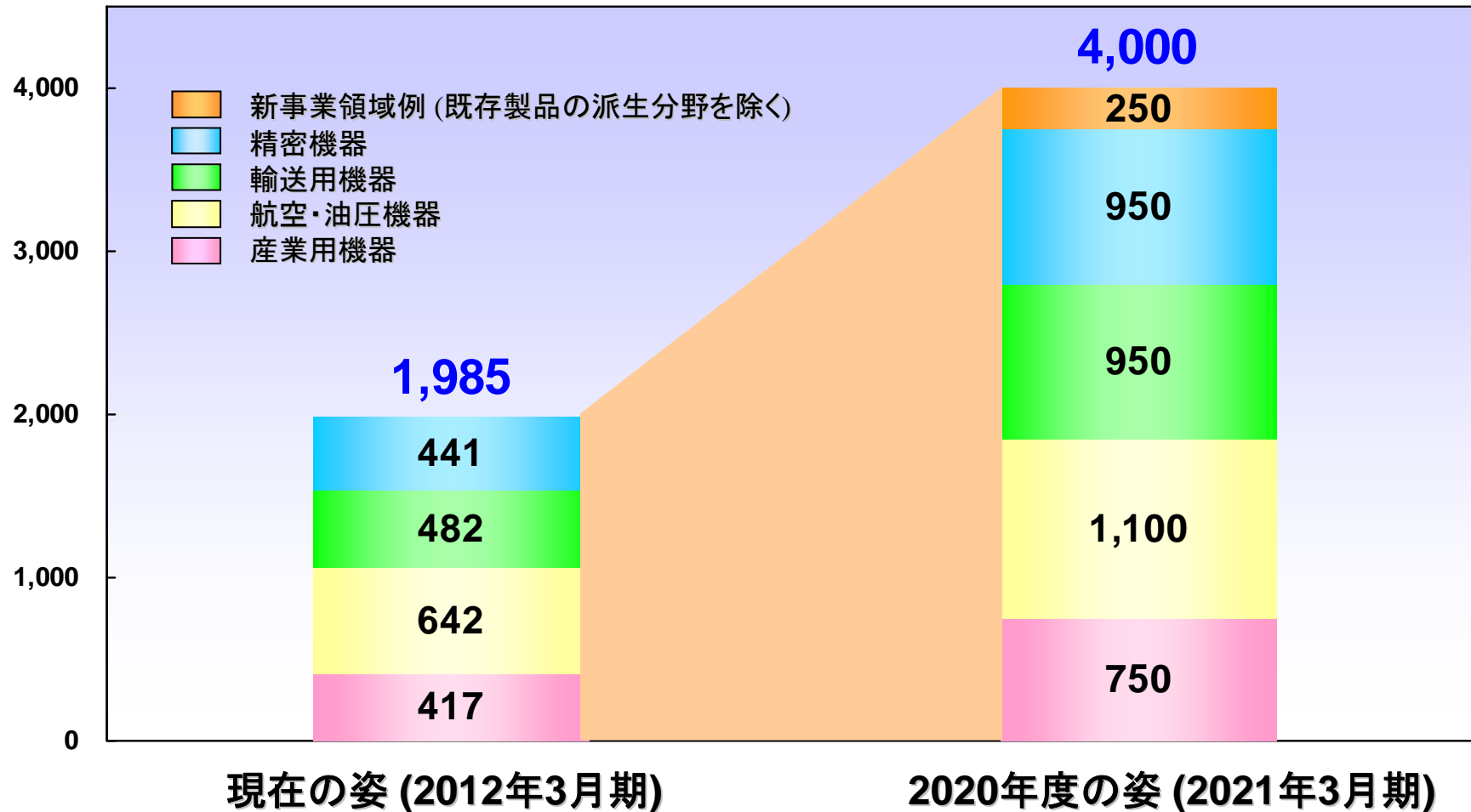


	2012年3月期 <実績>	2014年3月期 <中期計画>	2021年3月期 <長期ビジョン>
売上高	1,985億円	2,400億円	4,000億円
営業利益	228億円	313億円	600億円
営業利益率	11.5%	13.0%	15.0%
ROA	7.6%	9.5%	11.0%
ROE	15.6%	17.0%	18.0%

事業別売上高



(単位:億円)

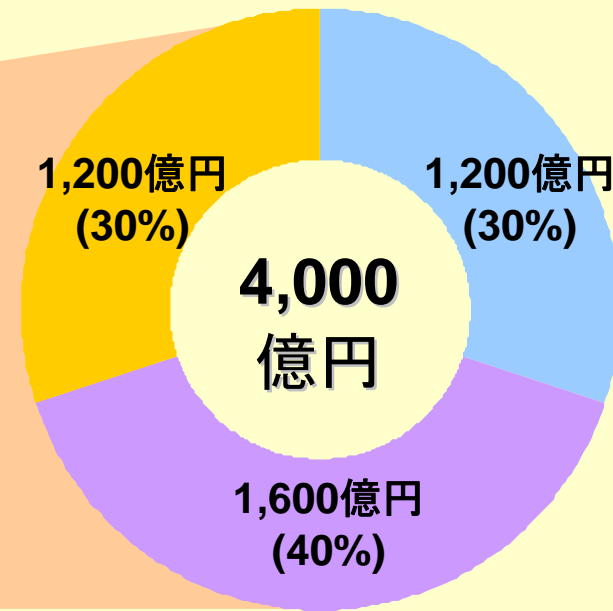
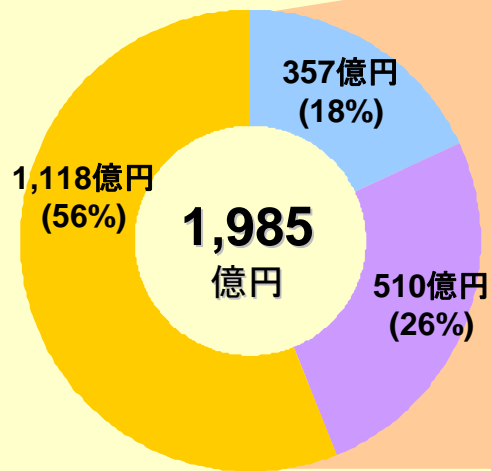


地域別売上高構成



現在の姿(2012年3月期)

2020年度の姿(2021年3月期)



成長戦略

✓ 新事業創出

- ① 新規市場、新製品開発のためのマーケティング推進 ② 製品開発力の向上
- ③ M&A、アライアンスによる新事業獲得

✓ 生産体制構築

- ① ブラックボックス化のための生産技術力向上 ② 自動化の追求
- ③ 最適生産実現のためのグローバルSCM構築、IT活用、生産拠点相互活用

✓ グローバルに通用する最適人財の育成と確保

✓ 新経営体制への移行

- ① ビジネススピード加速のためのカンパニー再編、経営と執行の分離
- ② 事業効率向上のための横串組織設立(生産本部、新事業開発室、技術開発研究所)

✓ 設備投資及びM&A合計2,000億円 (2013/3~2021/3累計)

✓ R&D

- ① グローバルな要素技術研究
- ② 新製品に関わる最先端技術の探索と研究(産官学)
- ③ 世界に通用するハイレベル技術者の確保

うごかす、とめる。
Nabtesco

